

## 教員紹介

氏名	山本 健司	担当科目	法文書作成、 弁護実務基礎論（ロイヤリングを中心に）
<b>略 歴</b>			
出身地	兵庫県芦屋市生まれ		
出身大学等	1989年 大阪市立大学法学部卒業		
職 歴	1989年大阪市立大学法学部卒業（学士（法学）） 1989年最高裁判所司法修習（43期） 1991年弁護士登録 1991年北浜法律事務所（現：北浜法律事務所・外国法共同事業） 2008年大阪弁護士会法曹養成・法科大学院協力センター副委員長（2018年3月まで） 2010年 大阪市立大学大学院法学研究科特任教授（現在に到る） 2013年大阪弁護士会司法修習委員会副委員長（2015年3月まで） 2015年大阪弁護士会副会長（2016年3月まで） 2017年大阪弁護士会司法修習生及び弁護士の就職支援に関する特別委員会委員長（2018年3月まで） 2018年大阪弁護士会法曹養成・法科大学院協力センター委員長（現在に到る）		
在外研究歴			
社会貢献等			
<b>主要研究業績等</b>			
主 著 等	主著： ・「近時の苦情・不祥事案件の傾向から学ぶ 一誇りの持てる、魅力ある職業であり続けるために―」 （日本弁護士連合会編「日弁連研修叢書 現代法律実務の諸問題〈平成28年度研修版〉」（講演録）、第一法規、2017年7月25日） ・「中小企業法の理論と実務（第2版）」〔共著〕（「事業承継」執筆・「事業再生」共同執筆、民事法研究会、2011年3月31日）		

- ・「赤字第三セクターの処理」（倒産実務交流会編『争点 倒産実務の諸問題』（青林書院）所収、2012年出版）
- ・「労働審判 紛争類型モデル（第2版）」（共著、「類型25 セクシュアルハラスメントに対する損賠賠償請求」共同執筆、大阪弁護士協同組合、2013年7月20日）

主論文：

- ・「市大法曹養成の伝統と挑戦～市大法学部のよき伝統を活かし挑戦し続けるための『教育論』・『若者論』～」(大阪市立大学「法学雑誌」第60巻第3・4号, 2014年3月30日)
- ・巻頭言「パワハラ」を「しない、させない」職場にするために(「経営法曹」第186号, 2015年9月20日)
- ・「(基調報告①)公益通報者保護法の概要について」(経営法曹研究会報50号、2006年)
- ・「松下PDP最高裁判決以降の黙示の雇用契約成否に関する裁判例の傾向」(「経営法曹」第170号132頁、経営法曹会議、2011年9月26日)